

会 議 録

(5-1)

会議の名称		第2回 春日部市自立支援協議会 (第9期)		
開催日時		令和5年8月18日 (金)	開 会	午前・ 午後 1時30分
			閉 会	午前・ 午後 2時30分
開催場所		春日市中央公民館2F 大会議室		
議長(会長等)氏名		会長 野村 善晶		
出席者	委員氏名	(出席人数：12人) 野村 善晶、永田 啓子、飯澤 育世		
		多賀 久仁子、須藤 美智子、羽鳥 一子、松本 久男、佐藤 敦子		
		藤崎 稔、八木原 みき、下谷内 裕之、畠 秀和		
	説明者 その他	(出席人数：0人)		
	事務局	(出席人数：5人)		
福祉部長 : 戸張 昌代				
障がい者支援課長 : 内藤 道夫				
障がい者支援担当主幹 : 榎本 雅明				
障がい者支援担当主幹 : 相澤 寿昭				
		障がい者支援担当主査 : 清水 亜由美		
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 あいさつ 3 議事録署名人の選任 4 議事 (1) 第7期春日部市障害福祉計画 (素案) について (2) その他 5 閉会		
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当 : <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当 : <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当 : <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当 :		
配布資料		1 次第 2 資料1 : 第7期春日部市障害福祉計画 (素案) 3 資料2 : 訂正箇所一覧 4 資料3 : 障害者支援事業所等アンケート結果		
会議録の作成方法		要点記録		
会議録署名の指定		須藤 美智子		

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	次第1：【開会】
事務局	【配布資料について、正誤表をもとに修正箇所を報告】
会 長	次第2：【会長あいさつ】
事務局	【会議成立の報告：委員16人中12人出席】
	【議長の就任】
	春日部市自立支援協議会要綱第5条2項の規定に基づき、野村会長が議長となる。
議 長	【会議公開の宣言】
	【傍聴人の有無について確認_傍聴人：0人】
	次第3：【議事録署名人の選任：須藤 美智子 委員】
	次第4：【議事】
	【議題（1）第7期春日部市障害福祉計画〔素案〕について】
	【事務局に説明を求める】
事務局	【資料1：第7期春日部市障害福祉計画〔素案〕および
	資料3：障害者支援事業所等アンケート結果に基づき説明】
議 長	【意見および質問等を求める】
八木原 委員	相談支援の地域移行、地域定着について、通常の見込み量に加えて
	精神障がい者の見込み量を特記しているのはなぜか。
	また、総合的・専門的な相談支援の実施について、見込み量のみで、
	実績がないのはなぜか。
事務局	精神障がい者の地域移行・定着支援について特記があるのは埼玉県
	から指示があったためこのような形としている。
	総合的・専門的な相談支援の実施については、地域包括ケアシステム
	といった、多職種による総合的な支援を実施するにあたり、高齢者に
	関しては整備されているが、障害者に関してはまだ整備されていない。
	そのため、来年度から実施される重層的支援体制整備事業などとも
	合わせて他部署と連携しながら地域の相談支援体制の強化を行って
	いく予定であるとして、現時点での見込みについて記載している。
松本 委員	今回、計画素案とは別の資料として配布された事業所アンケート
	だが、計画の中に組み込まれた際に、意見に対する市の回答は掲載
	されるのか。
事務局	アンケートはあくまで資料として掲示するため、春日部市としての
	意見は掲載しない。例えば、実績値が少ないサービスであっても
	事業所からの意見や要望を加味して見込み量を設定する、といった
	形で反映させていく。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
多賀 委員	障害福祉サービスの内容について、聞こえない人、または難聴者
	なども含まれているのか。
事務局	また、アンケートは聞こえない人からの意見も集約しているのか。
	前回の第6期障害福祉計画は第4期障害者計画と一体的に策定して
	おり、その際に耳の聞こえない方を含めた障がいのある方や、障がい
	のない方たちの意見を集約してる。
	その結果は今回策定する第7期障害福祉計画にも引き続き反映
	されていく。
	ただ、今回実施したアンケートは個人ではなく、市内の障害福祉
	サービス等を提供する事業所を対象に行っているので、特定の障がい
	の方の意見、という形ではない。
	そのため、事業所の利用者に聴覚障がいを持った方がいて、その
	事業所の職員がその障害に起因した不便や必要なサービスについて
	意見を出していれば反映されると思うが、どこがその部分か、という
	明確な回答をすることはできない。
多賀 委員	聴覚障がい者は高齢化が進んでいる。今後の支援やサービスについて
事務局	伺いたい。
	福祉全般の話になってしまうのだが、前提として、国は地域共生
	社会の実現を基本方針として打ち出しており、障がい者や高齢者、
	子どもに関して、地域で助け合って、いつまでも地域で暮らして
	いけるようにするための計画を策定していくことを基本としている。
	現在策定中の地域福祉計画の中では障がい者の問題や高齢者の
	問題を含めた総合的な福祉の施策を検討しているものと思われる。
	直接の担当ではないため詳しいことは言えないが、先ほど話題に
	上がった重層的支援体制整備事業についても地域福祉計画に含まれ
	ており、障がいを含めた様々な分野で全庁的な対応ができるように
	していく予定である。
	お話があった高齢化について、65歳以上になれば介護保険が優先と
	なってくるが、介護保険にない支援については、引き続き障害者支援
	を利用できるようにしていく、といったような、一人一人のいろいろな
	課題に市全体でバックアップしていく体制を来年度から始めていく
	予定である。
	ただ、今回策定しているのは障害福祉計画であり、障がい者支援
	課が令和6年度から8年度までに行う予定の各サービスの見込み量
	を算定し、自立支援協議会の皆様の意見をいただき、その意見を

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	もとに庁内検討委員会で内容を検討したうえで、障害者計画等審議会において、どのように計画に反映していくかを決定する、という流れで計画を作っていく予定である。
畠 委員	6ページの精神障がい者の退院率について、死亡による退院は含まれているのか。
事務局	ここでいう退院とは、地域で生活していけるようになったものを対象としているため、死亡による退院は含まれていない。
下谷内 委員	地域特性を加味して計画を策定していく、という話であったが、例えば春日部市の強みや弱みといった項目は、どの部分から読み取れるのか。
事務局	春日部市の地域特性は、第3章における3年間のサービス見込み量から読み取れる。
事務局	春日部市の強みや弱みはどこか、というと障害分野について未着手の部分が多いところである。
事務局	本来であれば医療的ケア児のためのコーディネーターの配置や、センターのような拠点の整備、相談支援体制へのバックアップといった、基盤になるような部分が整備されていない。
事務局	例えば越谷市などは医療法人や社会福祉法人に委託をして、基幹相談支援センターを設置している。
事務局	基幹相談支援センターとは、介護保険でいうところの地域包括支援センターのように、障がいのある方が困ったときに相談ができる場所である。
事務局	そのため、地域ごとに一つずつ設置されることが理想であるのだが、春日部市では現時点でまだ見通しが立っていないため、まずは一か所作っていきたい。
事務局	基盤整備に重点を置く、といった考えで数値を出している。
事務局	そのほかのサービスや事業については、春日部市の実際の利用実績をもとに、伸び率を勘案して今後必要と思われるサービス見込み量を算出している。そのため、数字が多い部分が、春日部市で
事務局	人気のある事業だとみていただければと思う。
松本 委員	実績値欄には市内事業所数が記載されているが、見込み量欄には記載しないのか。
事務局	国や県が示す計画の作りに、事業所数の見込み量については記載がない。市町村に求められているのは、利用者数や利用時間等の見込み
事務局	である。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	新規の事業所の認可は都道府県によって行われており、県でも
	障害福祉計画を策定していくため、事業所数については、そちらに
	掲載されるのではないかとと思われる。
議 長	本日出た計画書の素案に対する意見は、庁内検討委員会で精査
	していただくこととする。
	【他に意見及び質問等はなく次の議題に進む】
	【議題（2）その他について】
事務局	本日配布した事業所アンケートの結果については、急ぎ作成した
	ため、体裁を整えたうえで改めて素案の中に追加する予定である。
	次回会議は、当初の予定通り11月上旬から中旬を予定している。
議 長	本日出た計画書の素案に対する意見は、庁内検討委員会で精査
	していただくこととする。
	【他に意見及び質問等はなく次の議題に進む】
	【議題（2）その他について】
事務局	本日配布した事業所アンケートの結果については、急ぎ作成した
	ため、体裁を整えたうえで改めて素案の中に追加する予定である。
	次回会議は、当初の予定通り11月上旬から中旬を予定している。
議 長	【他に意見などはなく閉会とする】
副会長	【閉会のあいさつ】
事務局	【閉会】

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和5年 8月 25日

署名者の職・氏名

自立支援協議会委員 須藤 美智子